

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		26
部	教育部	課	スポーツ課	

1. 指定概要

施設概要	名称	近江八幡市立健康ふれあい公園		建設年	平成29年（大規模修繕 年）		
	所在地	近江八幡市竹町1178番地		利用対象	全 市		
	設置目的	施設は、子どもから高齢者までが利用できる健康増進のための運動公園を基本理念として、市民の心身の健全な発達、健康寿命の延伸並びに体育及びスポーツの普及振興を図ることを目的に運営する。					
	規模	敷地面積 2,529㎡、延べ床面積 3,863㎡、階数 地上2階、地下1階					
	指定管理開始年度	令和4年度					
指定管理者	名称	アシックス・ビバ・ナショナルメンテナンス共同体（代表者 アシックススポーツファシリティーズ株式会社）					
	所在地	神戸市中央区三宮町一丁目2番4号					
指定管理業務の内容		①施設の維持管理に関する業務 ②施設の利用に関する料金の徴収等に関する業務 ③施設の設置目的の達成に資する事業に関する業務 ④施設の利用者の利便性を向上させるために必要な業務 ⑤その他、施設の運営に関し市長が必要と認める業務					
指定期間		令和4年 4月 1日 ～ 令和9年 3月31日 （5年間）					
指定管理料		令和５年度： 47,438千円	令和６年度： 49,599千円		令和７年度： 49,599千円	令和８年度： 49,599千円（見込）	
利用料金制		採用している		選定方式	公募	応募者数	1

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和7年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	【目標】 ○安全で安心して利用できるスポーツ施設 【具体的な取り組み】 ①施設・設備の維持管理 ・施設清掃 ・植栽管理 ・消防設備保守点検 ・電気設備の点検・メンテナンス ・建設設備管理（自動ドア、防犯カメラ、電気設備装置） ・施設機械警備（機械警備用センサーメンテナンス） ②危機管理体制の確立 ・消防訓練・緊急時対策訓練 ・個人情報の保護	①施設及び設備の維持管理 ●施設日常清掃●植栽管理(剪定、施肥)業務：1/19,20●消防設備点検：5/19（機器）、11/10（総合）●受変電設備点検業務：奇数月点検実施、全停電点検11/17●機械警備業務：毎日●温水ヒーター保守点検：7/11、1/17●温水ヒーター煤煙測定業務点検：7/18、1/20●受水槽清掃業務：10/20●浄化槽保守点検業務：月4回、法定検査1/22●プール濾過装置点検業務：9/30、3/2●空調機保守点検業務：6/9、12/15●パッケージエアコン点検：6/9、9/1、12/15、3/9●常駐設備管理業務：毎日●残留塩素測定業務：毎週火曜日●二酸化炭素測定業務：毎週火曜日●空気環境測定業務：奇数月●飲料水水質検査業務：8/6（精密）、2/4（一般）●プール水質検査業務：毎月●プール水水質検査業務(総トリハロメタン・レジオネラ菌)：8/6、リラクゼーションプール●簡易専用水道検査：12/5●防虫・防除業務：9/22、3/2●エレベーター保守点検業務：4/1、7/15、10/10、1/15●オイルサービスタンク業務：毎月●建築設備定期検査報告1/26●自動扉点検業務：5/8、8/5、11/7、2/5 ②危機管理体制の確立 ●避難訓練●救命救急法講習（AED研修含）●人材育成プログラム●接客研修●コンプライアンス研修	(よかったと評価できる事項) 実施要項および緊急修繕要項に基づき、計画的かつ適正に実施され、衛生面、安全面に細心の注意が払われている。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 施設建設から8年が経過しており、プール等各所の設備に修繕及び更新箇所が増えている。各設備の更新計画を綿密に立て、急な出費とならないよう留意する必要がある。
		【目標】 ○利用者の目線を基本とする施設運営 ○生涯スポーツ推進は市民の集いから 【具体的な取り組み】 ①利用許可 ・特定の利用者に偏らない公平な運営 ②利用料の設定、徴収 ③物品販売の開設	①利用許可 ●毎回受付 ②利用料の設定、徴収 ●R07 41,121千円（R06 35,942千円） ●利用者アンケートとして、年1回のモニタリングを行い、要望や改善点を収集している。また、その要望に対し優先度、難易度等を総合的に判断し善処している。 ③物品販売の開設 ●スミミング関連用品、アパレルウェア、栄養補助食品等	(よかったと評価できる事項) 施設全体が清潔に保たれ、利用者の満足度向上に繋がっている。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 利用者数増加によるトレーニングマシンの劣化が目立つため、計画的に更新する必要がある。マシンによっては順番待ちが利用者のストレスになっている。
		【目標】 ○民間企業の英知と努力を活かした施設運営 【具体的な取り組み】 ①防犯の徹底 ・防犯カメラを複数台設置し、事務所内モニターで監視 ・「警備実施中」の看板を掲示 ・夜間は機械警備システムにより遠隔監視 ②職員研修の開催 ・普通救命講習 ・プールスタッフ研修、トレーニングルーム研修 ・個人情報セミナー ・危機管理研修、法令研修 等 ③自主事業の運営 ・プール定期教室、フィットネススタジオ定期教室、屋根付多目的広場定期教室	①防犯の徹底 ●防犯カメラを複数台設置し、事務所内モニターで監視 ●夜間は機械警備システムにより遠隔監視 ②職員研修の開催 ③自主事業の運営 プール定期教室、フィットネススタジオ定期教室、屋根付き多目的広場定期教室、スケボー教室、健康増進プログラム、パーソナルトレーニング	(よかったと評価できる事項) スタジオ月額制の導入等、固定利用者の獲得に努められている。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 利用者からのスケートパーク夜間照明の設置の要望について、費用対効果等の検証を行い実装に向けての計画に努められたい。
	（施設の運営向上策）			
	（提案内容の実施業務） その他の業務 自主事業			

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	【目標】 ○利用者の声が反映される施設運営で利用者を増やす 【具体的な取り組み】 ①利用者アンケート等の実施 ②口コミ宣伝での利用促進 ③ホームページでの情報発信 ④市広報の活用 ⑤市LINEの活用 ⑥コミュニティセンター等へのチラシ配布、地域情報誌やZTV等の活用	●施設利用者数 ：R07 183,465名 (R06 161,146 名) ①利用者アンケートの実施 ②口コミ宣伝での利用促進を実践 ③ホームページで利用者の有効利用のため新着情報等を随時掲載 ④広報おうみはちまんへの掲載 ⑤市LINEにてイベント・教室の周知 ⑥各学区コミュニティセンターへのチラシ配布(不定期)、地域情報誌「オウティ」への掲載(不定期)、ZTVでの情報発信(不定期)、LINEの運用、Instagramでの発信	(よかったと評価できる事項) 利用者拡大に向け、市広報や市LINE、地域情報誌、ZTV、LINE、コミュニティセンター等へのチラシ配布など有効活用され、幅広い年齢層での新規利用獲得に向けて努力されている。 (改善を要した事項と対応) 特になし。
				(課題) 利用者増加に向けた各種広報手段の研究に努められたい。

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和7年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	●収入 131,177 千円【税込み】 指定管理料 49,599 千円 利用料等 35,941 千円 自主事業 45,636 千円	●収入 136,145 千円【税込み】 指定管理料 49,599 千円 利用料等 41,121 千円 自主事業 45,424 千円	利用者数・利用料収入ともに増加を維持しており、努力をされていることが伺える。自主事業は前年比微減となったが、収入確保に向け取り組まれている。
	●支出 137,099 千円【税込み】 人件費 57,781 千円 事務費 25,909 千円 管理費 53,407 千円	●支出 141,091 千円【税込み】 人件費 60,193 千円 事務費 25,851 千円 管理費 55,046 千円	(改善を要した事項と対応) 特になし。
			(課題) 人件費・物価の上昇が今後続くため、経費の中・長期的な見直しが必要となる。

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	実施期間：令和8年1月～令和8年2月 実施方法：施設利用者へのアンケート調査
評価頂いている内容	・館内清掃 ・施設設備の充実 ・教室事業の充実
苦情・意見等	・料金設定についての改善要望 ・設備・備品の充実についての意見 ・利用、駐車マナーの改善要望

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

予測される備品購入や施設修繕等は、計画的に実施している。費用負担に関しては、今後も協議を行っていきたい。
--

6. 指定管理者の自己評価コメント

令和6年度から継続して人件費および水光熱費の削減に取り組み、効率的な施設運営を目指しました。しかしながら、物価高騰の影響が依然として続き、特に電気料金のさらなる値上げにより、当初の削減目標を達成することが困難となりました。結果として、経費総額は計画を上回る形となり、運営上の大きな課題として残りました。 一方で、利用者目線での運営を最優先とし、サービスの質を落とすことなく、安全・安心にご利用いただける環境づくりに努めました。設備点検の強化、スタッフ研修の充実、利用者からの意見収集など、利用者満足度向上に向けた取り組みは一定の成果を上げた認識しております。

7. 所属の総括コメント

企業の英知とこれまでの事業実績により、効率よく運営し利用者が快適に安全で安心して利用できる施設環境づくりのため、創意工夫を凝らした管理運営に努められていることを評価します。また、地元自治会との連携により、より良い関係を構築されていることも高く評価します。また、利用者数、使用料収入ともに前年比増にあることなど、スタッフの対応が利用者の満足度に繋がっていると考えます。 反面、収支においては開業以来赤字が続いており、自主事業運営等において、さらなる創意工夫に努めていただきたいと考えます。
